

2012年12月2日(日)

第143回例会 文学と歴史の香り高き街逗子～鎌倉を歩きましょう

集合:京急新逗子(進行方向前方)9時45分 10時出発 12km

コース:新逗子駅→六代御前→蘆花記念公園→逗子海岸→法性寺→まんだら堂跡→大切岸上→こども自然ふれあいの森→衣張山登り口(登らず)→ハイランド広場→巡礼古道入り口→華頂の宮邸→報国寺→鎌倉八幡宮(源平池)

リーダー 中村さん サブリーダー 仲さん 平嶋さん 参加者 29名

レポート 大平



新逗子駅からすぐに急登です。体が温まりました

朝は寒かったが 皆さん元気に勢揃い



六代御前の碑を経て

幼名は平正盛から数えて直系の六代目に当たることに因んで「六代(ろくだい)」と名づけられた。「高清」という実名は高野山の歴史を記した『高野春秋編年輯録』などに記載されているが、『平家物語』が幼名の六代を用い続けているために「平六代」の名前で呼ばれるのが一般的である(本項目でも、特に断りが無い限りは「(平)六代」と表記する)。寿永2年(1183年)、源義仲の攻勢の前に平氏が都落ちを決意したとき、維盛は都に慣れ親しんでいる妻を共に西国に落ち延びさせることは忍び難いとして、妻子を都に残して一門と共に西走する。このとき維盛は妻に対して子供のことを頼むと共に、自らに何かあったら再婚してほしいと言いつ残した(『平家物語』)。



逗子にこんな高い山があつたかと思うほど登りが続きます 古墳を横目に



蘆花記念公園にて 眺望の開けていて逗子市街、相模湾が望めました。



蘆花記念公園を経て今度は下りです



法性寺

白猿が飾られた山門の扁額

安房の清澄寺で日蓮宗を開宗した後、鎌倉入りした日蓮は、鎌倉の松葉ヶ谷（まつばがやつ、現在の長勝寺、安国論寺、妙法寺の辺）に小庵を結び、布教活動を行う。しかし、他宗を激しく批判した為、様々な法難に遭う。松葉ヶ谷の法難で念仏信者に小庵を焼き討ちされた日蓮は、伝説によれば白猿に導かれて、ここ法性寺まで逃れてきたという。



法性寺 奥が深いです



法性寺の境内にある山頂には5輪塔があり、ここからは360度の眺望が楽しめます

逗子市市街を見下ろす



山頂にて





本日の目玉 まんだら堂跡でめったに入れないと
のこと 貴重な遺跡を見学できました



第2次大戦後にまんだら堂跡には法華經の行者故小山白哲老師が妙行寺を建て、あたりを畑にするため弟子の青年と二人で掘り起こすと無数の五輪塔や宝篋印塔が出土したため、すこしづつ復元をした。小山白哲老師は世界平和を祈るかたわら庭に花を育て鎌倉有数の花菖蒲やあじさいの見所にまでなった。しかし老師の死後、寺は荒れるにまかせ、まんだら堂自体も閉鎖されて現在にいたっている。数年のうちに逗子市によって整備されるという





まんだら堂跡で 集合写真を撮りました まだ準備ができていない人もいますが



名越の切通しにて

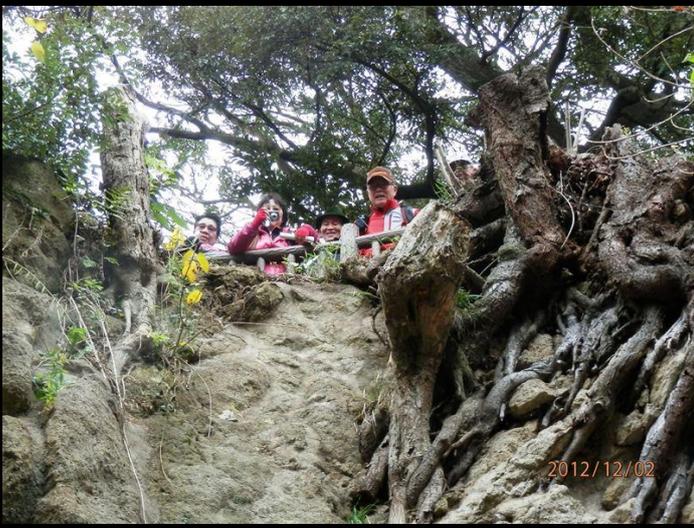




上から見下ろす仲間達



下から見上げる人



巡礼古道にて あでやかな紅葉に見とれて、それにおとらないあでやか女性陣



こちらも負けずに男性陣



色とりどりの紅葉の道をいきます。



小さな磨崖仏がありました



旧華頂亭



華頂亭 鎌倉の緑深き谷戸の中に、古典的なハーフティンバースタイルの趣ある洋風建築があります。この建物は、旧華頂宮邸（きゅうかちょうのみやてい）といわれ、昭和4年の春に華頂博信侯爵邸として建てられたものです。平成8年5月鎌倉市が取得し、平成18年4月には市の景観重要建築物、同年10月に国の登録有形文化財（建造物）に指定されました。「日本の歴史公園100選」にも選ばれています。



華頂亭の庭にて

みごとな大銀杏の紅葉

鎌倉、逗子は何回も行ったと思いましたが、初めての道、こんなに気持ちよく歩ける道があったとは驚きでした。見どころも多く、また紅葉の季節とあって一層楽しませてもらいました。